

ボアジチ大学Language Fellowship Program

2026年度募集要項

東京外国語大学では、本学の協定校であるボアジチ大学（トルコ イスタンブール）において日本語講師の派遣（Language Fellowship Program）を行っています。応募資格を満たす本学の博士前期課程（修士課程）修了者が応募できます。学内選考に合格した方は、トルコ側による審査を経たうえで、日本語講師として日本語指導にあたっていただきます。

募集要項

1. フェローシップ条件

<応募資格>

- 日本語教育に関連する分野の学部を卒業し、修士学位を取得していること
- 大学レベル（語学学校を含む）で1年以上の指導経験があること
- 日本語はネイティブレベル、英語はビジネスレベルの能力があること
- 日本国籍を有していること
- 将来日本語教育に携わりたい者が望ましい

<待遇>

- 給与：月額90,000リラ程度
※諸税を差し引いた手取り額。ボアジチ大学から支給。（日本円で31万円～32万円程度だが為替相場や現地の情勢により大きく変動する可能性、且つ契約期間内に変動可能性がある）
- ボアジチ大学が宿舎（ゲストハウス）を提供、住居費*は上記給与から差し引かれる予定
*ゲストハウスのあるキャンパスにより住居費が異なる。キリョスキャンパス：320リラ/1日、南（メイン）キャンパス：650リラ/1日（2026年7月に料金改定予定）
*水道光熱費別
- 日本・現地の往復航空運賃は自己負担
- トルコの健康保険に加入
- 有給休暇（授業期間外に取得可能、最大20日間程度付与見込み）、別途病気休暇あり。基本的に一時帰国（holiday leave）なし（特に必要な場合は応相談、費用は個人負担）
- フェローシップ期間：基本的に9月～8月までの1年間（9月上旬頃にトルコ入りし、9月下旬頃から授業を担当予定）
ただし勤務状況やフェローの希望により、さらに1年間の延長（最大で計2年間）が認められる可能性あり
- 勤務地：イスタンブール

<その他>

- 就労ビザの取得費用は自己負担（2025年度の費用は約1万円、料金の変動あり）
- 労働許可証の取得費用は自己負担（2025年度の費用は約13,000リラ、料金の変動あり）
- 採用後、卒業証明書（取得した学位全て）をトルコの公的な翻訳業者等に委託し、証明（スタンプ）を得る必要があり、その費用は自己負担となる。証明の取得にあたってはボアジチ大学が支援を行う。
- 現地情勢や当局の審査状況などにより、各種手続き等に時間を要する場合があることや、申請自体が承認されない可能性をご理解の上、ご応募ください。

<担当授業等>

- ボアジチ大学は2期制：秋学期（9月～12月）と春学期（2月～5月）
- フェローの授業時間数：週15コマ～20コマ（1コマ50分）
- 担当予定授業：日本語初級～中級レベルの授業
- 試験、作文の採点・成績をつける業務・スピーチコンテスト指導・一部クラブ活動や行事への参加等も含まれる（領事館や日本人学校へ来賓として招待されるイベントに参加する可能性もある）。

<生活全般について>

ボアジチ大学国際交流課が中心にサポート

2. 学内選考応募書類

- 英文CV（様式自由）
- 日本語の履歴書（様式自由）
- 英文Motivation Letter（A4サイズ用紙1枚以内）

※CVには修士課程もしくは博士課程での研究テーマも記載すること。また、日本語教育経験がある場合には、その授業の形態（レベル、人数、教科書、教授法など）も細かく記載すること。

※上記書類をCV、Motivation Letter、日本語履歴書の順に一つのPDFファイルに結合し、下記書類提出先にe-mailで送付してください。

【採用後】上記<その他>に記載のとおり、卒業証明書（取得した学位全て）のほか推薦状などが必要になる可能性がある。詳細は採用者に連絡。

3. 応募〆切

2026年3月23日（月）終日

4. 今後のタイムライン（予定）

2026年3月下旬：学内面接（オンライン実施：日本語・英語 両方予定）

2026年4月～8月：トルコ側審査

2026年8月：ビザ申請手続き・交付

2026年9月：ボアジチ大学 契約締結・フェローシップ開始

2026年9月～2027年6月頃：フェローシップ・プログラム（授業・試験）

2027年8月：帰国

【本件に関する問合せ／ご相談・書類提出先】

東京外国語大学総務企画部広報・社会連携課 次世代日本語教育 DX センター

ojec-staff[at]tufs.ac.jp